

令和7年度

# 児童虐待への対応

市町村が行っている地域の関係機関との連携や、虐待防止のための早期対応から発生時の迅速な対応、その後の自立支援等に至るまで切れ目ない支援の推進などの児童虐待防止対策は、更なる強化が求められています。

本研修は、以下の研修のポイントについて学ぶことを目的として実施します。

また、全国の自治体で同じ業務に携わる受講者同士が、日頃の取組や課題を共有し、相互に学び合うとともに今後につながるネットワークの形成を目指します。

## 研修の ポイント

- 社会的背景を踏まえ、児童虐待の現状や課題について学ぶ
- 児童相談所及び庁内各部局との連携を強化するために必要な調整力を養成する
- 虐待問題を抱える児童及び親への支援の検討方法を身につける

## 開催要領

日 程

**令和7年12月1日(月)～12月5日(金)(5日間)**

場 所

**全国市町村国際文化研修所**

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

**児童福祉に関係する市区町村職員等(保健師・保育士・相談員の方も含む)の職員**

5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

**50人**募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。  
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

**研修所宿泊棟(宿泊型研修)**

※外泊はできません。

経 費

**19,150円**左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食5回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。  
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

**令和7年10月16日(木)まで**

申込方法

**JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」**からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和7年

12月

1日(月)

11:00～

入寮受付

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～14:10

講義

児童虐待防止対策の最近の動向と市町村に期待する役割

こども家庭庁支援局虐待防止対策課 事例分析指導専門官 笠 真由美 氏

最新の児童福祉法等の概要と「こども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第21次報告)」を中心に、身近な地域で子育て家庭を支援する市町村の役割についてお話しいただきます。

14:25～15:35

意見交換

質疑応答・グループ討議

こども家庭庁支援局虐待防止対策課 事例分析指導専門官 笠 真由美 氏

各自治体の取組や抱えている課題等について、意見交換、情報共有をしていただきます。

15:50～17:00

演習

演習導入

獨協大学 国際教養学部 教授 和田 一郎 氏

演習指導講師より、演習(課外学習)を進めていくうえでの考え方やポイントについてご講義いただきます。

17:30～

交流会

夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和7年

12月

2日(火)

9:00～13:45

講義

児童虐待の現状と課題 ～対応に必要な関係機関との連携～

日本大学 危機管理学部 教授 鈴木 秀洋 氏

本研修の総論として、自治体等がこれまで取組んで来たことを振り返り、児童虐待の捉え方や支援のあり方について考えます。また、重篤事例を含む様々な事例から見えてくる課題について考え、対応の仕方、体制、他機関や庁内他部署との連携のあり方、優先して取り組むべき事についてもお話しいただきます。

14:00～14:45

事例紹介

こども家庭センターの取組

大阪府豊中市こども未来部はぐくみセンター長兼こども安心課長 濱政 宏司 氏

令和5年4月に全国に先駆け設置された「はぐくみセンター」の運営にあたっての取組内容や、要対協との運営・各関係機関との連携など、豊中市で実施されている児童虐待への対応についてご紹介いただきます。

15:00～15:45

事例紹介

こどもデータを連携・活用した取組

神奈川県開成町こども課 専任副主任／前こども課長兼こども家庭センター長 田中 美津子 氏

開成町では、各所管部署で保有するデータをシステム連携させることで、早期に「虐待」の可能性などを判定するシステムを構築しています。今回はその取組内容を基に、成果と今後の展望についてご紹介いただきます。

16:00～17:00

課題演習

グループ討議

令和7年

12月

3日(水)

9:25～17:00

講義・演習

虐待の問題を抱える家族の支援について考える

～アセスメントを支援につなげる～(講義と事例を使った演習)

そだちと臨床研究会 代表(臨床心理士)／元滋賀県彦根子ども家庭相談センター 所長 菅野 道英 氏

虐待の問題を抱える家族の模擬事例を用いて、家族のストレングス(強み)とリスクのバランスをとる在宅支援共通アセスメント・プランニングシートを活用し、グループでディスカッションをしながら支援を検討する方法を身につけます。

17:00～

課外演習

9:25～12:00

講義

児童虐待対応に必要な法的知識と重大ケースの防止

NPO法人子ども支援センターつなぐ 代表理事／飛田桂法律事務所 弁護士 飛田 桂 氏

児童虐待に対応するにあたって必要となる法的知識・視点や、重大ケースの防止のポイントについて解説していただきます。

13:00～14:30

講義

臨床側面から考える親子支援のためのメンタルヘルスケア

兵庫県こころのケアセンター 副センター長 亀岡 智美 氏

虐待が子どものメンタルヘルスに与える影響や、市町村職員としての関わり方、求められている視点、できる親子支援・連携のあり方についてお話しいただきます。

14:45～17:00

課題演習

グループ討議

これまでの学びを踏まえて児童虐待への対応における課題について各自治体の実態も交えてグループで話し合います。その後、グループ討議の内容をまとめ、発表の準備をします。

令和7年

12月

4日(木)

9:00～14:10

課題演習

発表・まとめ・ふりかえり

獨協大学 国際教養学部 教授 和田 一郎 氏

児童虐待への対応における課題について、グループごとに討議した結果を発表し、受講者全員で知識・情報を共有します。講師から講評をいただき、さらに理解を深めます。

14:10～14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講